

# 牧田教授、地域自治制度改革の方向性を示唆

## 「住民自治を進める会」発足20周年記念講演

「住民自治を進める会」（佐藤忠治会長）の発足20周年記念講演会に行ってきました。講師は福島大学の牧田実教授です。これまで上越市の地域協議会検証会議にかかわるなど、上越市の制度に詳しい専門家です。

牧田教授は、参加と協働の視点から、地域自治区・地域協議会の基本的な仕組み、上越市での取組を振り返り、今後、地域自治を進めるためにどうしたらいいかを語りました。

そのなかで、注目したことの1つは、地域自治のとりえ方です。牧田教授は、地域自治には、①自分たちのことを自分たちでやる、②自分たちの政府を自分たちでコントロールする、の二面性があるのべました。自分たちの政府（自治体）を自分たちでコントロールする一面を追求することの大切さを改めて意識することになりました。

注目したことの2つ目は、2015年（平成27）1月に上越市地域協議会検証会議が地域協議会の参加機能を強化するための提案としてまとめた内容をふりかえったことです。

ここでは、①総合計画の地区別計画として位置付ける地域ビジョンの策定、②地域自治区ごとに地域予算枠を割り当て、この使途を地域協議会が決定すること、③一括交付金制度の創設の3つをあげていました。これはいまの時点でストレートに採用できないところもあるかも知れませんが、現行の地域予算の仕組みを改革する議論の基調となりうるものと思います。

今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。



【チャノキ】（再掲）ツバキ科の常緑樹。「茶の木」と書きますが、「チャの木」「茶樹」と書く人もいます。昨年の今頃、久しぶりに茶の花と出会いました。冬に向かって咲く花だったんですね。花期は10月から12月です。花は白。花言葉は「純愛」「追憶」です。写真は11月5日、吉川区小苗代にて撮影しました。



会場の市民プラザ第1会議室には60人ほどの市民が集まり、講演を聞いたり、意見交換したりしました。残念ながら、私は用事があり、シンポジウムには出れませんでした

### 12月定例議会審議日程 (いずれの会議も午前10時開会)

月 日	会議名	会議室名	備考
12月1日 (金)	本会議	議場	議案提案、質疑
12月4日 (月)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
12月5日 (火)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
12月6日 (水)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
12月7日 (木)	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
12月8日 (金)	本会議	議場	一般質問
12月11日 (月)	本会議	議場	一般質問
12月12日 (火)	本会議	議場	一般質問
12月13日 (水)	本会議	議場	一般質問
12月15日 (金)	本会議	議場	採決

ぜひ傍聴にお出かけください。

## あの頃の青春コンサート、今年も賑やかに

朝市で仲良しになった人のお誘いで今年も「あの頃の青春コンサート」へ行ってきました。「クレア」「吟遊詩人」など13ユニッ

トが1960年代、70年代の歌を中心に熱唱しました。イラストは全員合唱風景。今年も谷村新司の「昴」でした。盛り上がりました。



# はしづめ法一の活動レポート

No.2135 2023.11.26

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL https://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第七八二回

### 小春日和の日に(2)

五か月ぶりにくらくらいでしようか、E子さん宅を訪ねたのは……。注文していただいたエッセイ集『花嫁行列』を二冊持つていくと、E子さんは、美味しい沢庵漬けを出して、楽しい時間を作ってくれました。いつもなら、玄関の戸を開けた瞬間、飼っておられる犬が私に飛びついてくるのですが、今回はそういう「歓迎」はありません。

「あれー、いつもの犬はどうしたの」と訊(き)くと、E子さんは南側のベランダの方を見て、「きょうは暖かいから、あそこを日向ぼっこ」と教えてくれました。

この日は気温が上昇し、最高気温は平年よりも三度ほど高い一五度に達しています。家の中にいるよりも外に出ている方が暖かい日でした。

ベランダを見た時、犬と目が合いました。こちらに向かって動く様子は全く見られませんでしたが、外の方がよほど気持ち良かったのでしようね。

「あそこからは妙高も見えらるでしょ」と言うので、「一番左に斑尾山、それから飯縄山、黒姫、妙高、火打、焼山と見えるの」とE子さんは言いました。自分の家から頸城三山も周辺の山々も見えらるなんて羨ましいですね。

E子さんとの間で話題となったことの一つは、先日行われた山直海の専徳寺住職の葬儀のことでした。わが家もE子さんの家も専徳寺の檀家です。二人とも葬儀に参列していました。

「喪主を務めた副住職のお礼の挨拶が良かったわ」

「都合で終わるまでいられなかったけど、総代の高二さんの挨拶や敏明さんの弔辞は聴くことができた。いい話だったね」

「ほんとに良かったね。敏明さん、事前にエピソード探しをしてみたみたい。弟さんが住職と同級生だったから、弟さんにも訊

きなつたんじゃなかな。同級会かなんかで飲んだとき、酒好きの住職が茶碗を使ってチャカチャカやり、ひょうきんなところもみせたという話は弟さんの情報かも」

「そうだったんだ。よく知っていなるなあと思った」

今回のエッセイ集『花嫁行列』のなかには、専徳寺住職の人柄の一端を書いた「お寺さんのひと声」というエッセイも入っています。そのことを紹介すると、住職をめくり話題がさらに広がりました。

E子さん宅の居間にはストーブが出てあり、その上に大きな柚子(ゆず)が置いてありました。ジャンボ柚子です。それも話題になりました。

「橋爪さんから写真撮ってもらおうと思っ

てね」と言われたので、ストープからテーブルの上に移動してもらい、大きさをはかりました。

表面はごつごつしていますが、ほぼ丸型で直径が一五センチもありました。写真に撮ってから、柚子の底にあたる部分を下から見ると五センチほどの穴が開いています。

「なんだ、こんな風になっているんだ」

「私も知らなかった」

「なんかお尻の穴のようにも見えるね。ちよっと嗅(か)いでみるか。おお、いい匂い。やはり柚子の匂いだわ。おまんも嗅いでみない」

「あら、ほんと、いい匂いがする。でかいけど、中は実が入っていないのかもね」

二人の話はなかなか尽きなかったのですが、約一時間ほどのおしゃべりで気持ちをリラックスできました。

この日はいわゆる小春日和の日でした。夕方、近くの池の遊歩道を散歩していて、センブリやオヤマボクシなどいくつかの野の花がうれしそうに咲いているのを見つけました。この時期、暖かいと気持ちがよいのは、植物だって人間だって同じです。

## 釜炊きご飯と天然鴨の大鍋まつり



釜で炊いたご飯と鴨汁、そのほかに餅もある。これだけあれば最高級の「ごっつお」というものです。大島区の庄屋の家で18日に行われた「釜炊きご飯と天然鴨の大鍋まつり」、市内各地から大勢の人が集まりました。イラストは餅を焼く担当の男衆です。



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月15日(水)	11月22日(水)
上越南消防署	0.050	0.040
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.043	0.050
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.047	0.050
名立分遣所	0.050	0.057
高士分遣所	0.053	0.047

## 農業映画祭で地場産ミニコンサート

19日、今回で3回目となる「上越★農業映画祭」に行ってきました。楽しみにしていたのはトマト農家の山岸協慈さんのギターと平澤栄一さんの百姓の歌です。

平澤さんの「天空の丘で」という曲、初めてじっくり聴きました。都会から吉川区の川谷地区に入って農業をしている天明伸浩さん、嶋谷幸彦さんなどをイメージして作詞作曲した歌です。歌の途中で、天明さん、



嶋谷さんが農業への思いを語る場面も。元気の出る素敵な歌でした。